

別紙1 実施手順

施策番号・名	(1) 職場体験等受入企業と学校のマッチング
【実施手順】	
令和2年度中	
①事務局と建設業関係団体が来年度受入可能企業の状況を協議	
②事務局が会議メンバーから意見（時期、内容、連携の可能性など）の聴取	
令和3年度	
①事務局が対象事業について、県教委等と調整（小学校向け、中学校向け など）	
②建設業関係団体が受入企業募集	
③事務局が受入企業一覧等の作成	
④事務局が県教委等と調整の上、県から学校へ周知、参加校の募集（県教委・地教委への通知、HPへの掲載など）	
⑤事務局が各団体等と協議の上、候補校選定、日程調整	
⑥事業実施（生徒受入、学校訪問等）	

施策番号・名	(2) 職場体験・現場見学等の受け入れマニュアルの作成
【実施手順】	
令和3年度	
①事務局と建設業関係団体が、過去の職場体験や現場見学会の状況を調査（実施手順、安全対策等問題になったことなど）し、まとめる。	
②事務局が学校側メンバーから実施に当たっての希望や注意点などを聴取	
③事務局が①、②を元にマニュアルの原案を作成	
④事務局が会議メンバーに原案を提示し、意見を聴取	
⑤マニュアルを再構成	
⑥マニュアル完成。関係者に配布。建設業対策室HPに掲載	

施策番号・名	(3) 小中学校の環境整備活動を通じた建設産業の啓発
【実施手順】	
令和2年度中	
①各団体から来年度実施予定事業の情報収集	
②予定事業一覧をメンバーに公開。意見（時期、内容、連携の可能性など）の聴取	
令和3年度	
①対象事業の調整（小学校向け、中学校向け など）	
②学校へ周知、参加校の募集（県教委・地教委への通知、HPへの掲載 など） （1）のマッチングに取り込む	
③候補校選定	
④事業実施	

施策番号・名	(4) 小中学生・普通科高校生に対する出前講座、現場見学会の実施
<p>【実施手順】</p> <p>令和2年度中</p> <ul style="list-style-type: none"> ①各団体から来年度実施予定事業の情報収集 ②予定事業一覧をメンバーに公開。意見（時期、内容、連携の可能性など）の聴取 <p>令和3年度（出前講座：2回 現場見学会：2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①対象事業の調整（小学校向け、中学校向け など） ②学校へ周知、参加校の募集（県教委・地教委への通知、HPへの掲載 など） （4）のマッチングに取り込む ③候補校選定 ④事業実施 	

施策番号・名	(5) 総合学習・総合探究に適した新たな学習プログラムの作成
<p>【実施手順】</p> <p>令和3年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ①過去の職場体験、出前講座等について、学校関係者からの希望や問題点を調査 ② ①の調査結果について各団体と協議 ③各団体からのアイデア（団体間の連携など）を加味し、事業案を作成 ④事業案をメンバーに公開し、意見聴取 	

施策番号・名	(6) 中学生向けパンフレットの作成・配布
<p>【実施手順】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①事務局が骨子案作成 ②事務局が会議メンバーに骨子案提示、意見聴取 ③事務局が高校メンバーに掲載データ等の照会 ④事務局がデータ等の編集、原稿作成 ⑤事務局と中高会議メンバー・県教委等と配布時期、配布方法の検討 ⑥事務局が会議メンバーに原稿提示、意見聴取 ⑦再編集、校正 ⑧事務局が会議メンバーに最終原稿提示、意見聴取 ⑨再校正 ⑩パンフレット作成を印刷業者に依頼 ⑪学校にパンフレット配布、周知（マスコミ、HPへの掲載など） 	

施策番号・名	(7) 普通科高校生向けパンフレットの作成・配布
<p>【実施手順】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①事務局が骨子案作成 ②事務局が会議メンバーに骨子案提示、意見聴取 ③事務局がデータ等の編集、原稿作成 ④事務局が県教委等と配布時期、配布方法の検討 ⑤事務局が会議メンバーに原稿提示、意見聴取 ⑥再編集、校正 ⑦事務局が会議メンバーに最終原稿提示、意見聴取 ⑧再校正 ⑨パンフレット作成を印刷業者に依頼 ⑩学校にパンフレット配布、周知（マスコミ、HPへの掲載など） 	

施策番号・名	(8) ICT施工等体験学習会の開催
<p>【実施手順】</p> <p>R3年度（体験学習会：2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①事務局が学習会の場（ICT活用工事の現場など）を抽出 ②学習会の構成検討（学習会開催場所、開催方法等） ③工事業者・学校等との日程調整、説明者等の調整 ④参加校（学生）の募集 ⑤学習会の開催 	

施策番号・名	(9) インターンシップ、若手技術者と高校生との意見交換会の実施
<p>【実施手順】</p> <p>R2年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ①実施要望（対象校・対象業種の拡大、実施時期の変更等）を関係者から聴取 ②R3年度の実施案を提示 <p>R3年度（インターンシップ：各建設の学科・系列 意見交換会：2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①インターンシップ受け入れ先の確保 ②参加校（学生）の募集、マッチング ③インターンシップ内容の検討（各社） ④意見交換会の構成検討（意見交換会開催場所、開催方法等） ⑤日程調整、参加技術者等の調整 	

施策番号・名	(10) 学科・系列選択前の生徒に対する建設産業説明会の開催
<p>【実施手順】</p> <p>R2年度中</p> <ul style="list-style-type: none"> ①対象校から開催時期・開催内容等について聴取 ②各校の要望を各団体に伝え、意見（時期、内容、連携の可能性など）の聴取 ③開催時期の決定 <p>R3年度（説明会：6校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①説明会の構成検討（説明者、説明内容等） ②学校・説明者等との調整 ③説明会開催日の決定 ④説明会開催 	

施策番号・名	(11) 女性技術者と女子生徒等との意見交換会の開催
<p>【実施手順】</p> <p>R3年度（意見交換会：1回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①建設業関係団体が意見交換会参加技術者の選定 ②建設業関係団体と高校が意見交換会の内容を検討 ③高校が意見交換会参加生徒の募集 ④日程調整 ⑤意見交換会開催 	

施策番号・名	(12) 県外大学等進学者へのアプローチ (ユースバンクやまなし等の活用)
<p>【実施手順】</p> <p>R3年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ①事務局が収集する情報の種類を整理（ガイダンス、セミナー、インターンシップ、就職イベント等） ②事務局と業界団体等との連絡体制を構築（連絡方法等） ③業界団体等から掲載情報を収集し、事務局が取りまとめ ④随時、労政雇用課に掲載依頼（発信は月1回指定日） ⑤事務局が情報発信状況を整理し、年度末に関係者で共有・振り返り 	

施策番号・名	(13) SNS等による情報発信
<p>【実施手順】</p> <p>R3年度</p> <ol style="list-style-type: none"> ①事務局がプラットフォームを選定し、情報発信内容等を連携会議において提示 (県ホームページ、富士の国やまなしインフラガイド、外部サイト等) ②プラットフォームに応じた情報収集・掲載体制を構築 <p><以下、SNSについて></p> <ol style="list-style-type: none"> ③利用媒体(LINEなど)の選定 (例)LINE公式アカウント:地方公共団体向け無償化プランあり ④③の媒体に対応した発信内容・方法、フォロワー等獲得方法の検討 (担い手関係ページの新着情報を配信する形、配信情報の内容ごとに対象を分けるか等) ⑤運営体制の構築(情報発信メンバーの選定、情報収集体制等) ⑥アカウント取得等準備(必要に応じて予算確保) ⑦情報発信の開始 	

施策番号・名	(14) 若手技術者の離職防止に向けた会議の開催
<p>【実施手順】</p> <p>R3年度(会議:2回)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①建設業関係団体と事務局でメンバー構成等を検討 ②建設業関係団体等が各職域のメンバーを選 ③構成メンバーへ産学官連携会議の検討内容説明、開催会議の趣旨説明 ④会議の日程調整、議題等検討 ⑤第一回会議開催 ⑥会議の日程調整 ⑦第二回会議開催(入職後の取組等発表) ⑧建設業緩解団体が会議内容を団体参加企業へフィードバック ⑨適宜、会議内容を連携会議に報告 	

施策番号・名	(15) 新規入職者向けのフォローアップ意見交換会の開催
<p>【実施手順】</p> <p>R3年度(意見交換会:1回)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①令和2年度の意見交換会の内容検証 ②意見交換会の構成検討(意見交換会開催場所、開催方法等) ③建設業関係団体が日程調整 ④建設業関係団体が参加若手技術者の募集 ⑤事務局が参加校(教員)の募集 ⑥意見交換会開催 ⑦建設業緩解団体が意見交換会内容を団体参加企業へフィードバック 	

施策番号・名	(16) 若手技術者が入職後の取組等を発表する機会などの創設
<p>【実施手順】</p> <p>R3年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ①事務局と建設業関係団体がモチベーション向上を図るための取り組みを検討 ②事務局と建設業関係団体が発表する取組事項の検討 ②取組者の検討 ③発表内容の検討 ④発表日程の検討 ⑤発表会開催 (14 若手技術者の離職防止に向けた会議の第二回会議) 	

施策番号・名	(17) 週休二日制の促進
<p>【実施手順】</p> <p>R2年度中</p> <ul style="list-style-type: none"> ①対象拡大の決定 <p>R3年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ①令和3年度発注工事から適用 	

施策番号・名	(18) 女性技術者の働きやすい環境整備に向けた会議の開催
<p>【実施手順】</p> <p>R2年度中</p> <ul style="list-style-type: none"> ① けんせつ小町甲斐との協議 <p>R3年度 (会議: 2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①建設業関係団体と事務局でメンバー構成等を検討 ②建設業関係団体等が各職域のメンバーを選 ③構成メンバーへ産学官連携会議の検討内容説明、開催会議の趣旨説明 ④会議の日程調整 ⑤第一回会議開催 ⑥第二回会議開催 ⑦建設業緩解団体が会議内容を団体参加企業へフィードバック ⑧適宜、会議内容を連携会議に報告 	

【実施手順】

R3年度（連携会議：3回）

- ①事務局が構成メンバーの確認
- ②事務局が新規構成メンバーに会議の趣旨等を説明
- ③事務局が構成メンバーに検討要望事項等を照会
- ④事務局が日程調整
- ⑤第一回会議開催
- ⑥第二回会議開催
- ⑦第三回会議開催